

「令和4年度第48回九州地区子ども会ジュニア・リーダー研修会くまもと大会」に参加して

J L S. N. (高2)

私が今度の九大での感想がいくつかあります。

1つ目は出会いについてです。

自分は前回の九大が初めてだったので緊張してなかなか他県の人と話す事が出来なかったことを後悔していました。さらに今回の九大は前回と違いコロナの関係で前回の九大とは違い人が少なく、部屋も同じ県・市の人と一緒にあまり他県の人と話す機会が少なかったと思います。ですが九大の魅力として九州のジュニアが集まり交流できるというのが1番の魅力だと思っていて、このようなコロナ禍でも宿泊が行えるという大事な機会を無駄にはしたくないと思ったので、自分から積極的にほかの班の人たちやプロジェクトチームの人達などに話しかけて以前の反省を今回は後悔なく過ごせたのですごく嬉しかったです。とくにチーフとして同じ立場のこと交流を交わし九大後も連絡をとることで今後のジュニア活動にも大きく影響することがたくさんありました。このように出会いを大切にすることでお互い良かったと思えることが多かったりとメリットがあるのでこれからも出会いの場をむだにせず、大切にしていきたいです。

2つ目は自信についてです。

九大に参加した同級生はみんな九大がどんなところなのかを把握していて、これまでのことを含め、事前にレクなどを練習することで、前より全体を見ることができ、参加者として自信を持って行動することができていたと思います。九大が初めての子たちは当日までにたくさんのレクをあまり教えていなく、あまり自信がなさそうだったので子供たちの前でも自信を持ってレクが出来るようにもっとレクを教えて、何回も練習していきたいと思いました。

3つ目は、講話の中にもあったように聞き上手、話し上手になることです。今回参加者として私自身が学んできたことをこれからのジュニアに活かすために、もっと話す機会を作って行きたいし、色々な報告などではみんながわかりやすいような短く的確な伝え方、キャンプの反省、意見などについては細かく具体的に話すなど、場面に応じて工夫していきたいです。そして、話すだけで無く、聞く時もたくさんあります、その時にはただ話を聞くのではなく、講話などだったら話しを聞いて何を学んだのか、その学びを何に繋げていきたいか、など聞いた後に自分は何ができるかを考えて行動

に移して行きたいです。

今回の九大を終え、全体的な課題として自分自身のレベルアップ、他県をみて真似したい良い所、などを1人ひとりが意識し、全体で成長出来るような熊本市ジュニアになっていきたいです

「令和4年度第48回九州地区子ども会ジュニア・リーダー研修会くまもと大会」に参加して

J L S. T. (高2)

私は、今回3年振りにJ Lの九州大会参加した。今回は座学ばかりではなく、芦北でしか体験できない海洋体験等の貴重なことができ、とても有意義な3日間を過ごすことができた。コロナ禍ということもあり、運営の方々は感染対策を特に注意して行っていたと感じた。どの県・市の人もユーモアに溢れており、面白い人ばかりだった。

続いて、学んだことをまとめていく。

一つ目は、各県・市で様々なイベントを行っているということだ。(成人式でのお手伝いなど)熊本市ではやっていない楽しそうなものもあったため、ぜひ参考にしたいと思った。

二つ目は、やはり少子化の影響もあり、J Lが減少しているため様々な方法で宣伝を行っているということだ。小中学校でSNSで宣伝しているというところがあった。SNSはすぐにでも始めることができると思うため、ぜひやってみたい。

三つ目は、他の県と積極的に交流しているところがあるということだ。例えば、長崎県は広島県と交流しているようだ。熊本市も九州大会や指定都市大会以外でも他県の人と交流をすることで、より多くの意見交換や話し合いの場を設けることができると感じた。

今回の大会の運営を見て学んだことを来年の指定都市大会に活かしたい。特に、今回はみんなでレクをすることができなかったのが、来年は多くのレクを交換し、勉強したい。今後もイベントがあるので、企画・準備を頑張りたい。個人的なことだが、3年前同じ班だった人と数人再会でき、嬉しかった。今回同じ班だった人とたちとはInstagramを交換したため、再会できることを願っている。

「令和4年度第48回九州地区子ども会ジュニア・リーダー研修会くまもと大会」に参加して

J L Y. U. (高2)

私はこの研修会を通して学んだことが2つあります。

1つ目は、各県のジュニア・リーダー毎に、コミュニケーションのとり方が違うということです。私は2回目の参加でしたが各県毎に特徴が出ていて学ぶことがたくさんありました。例えば、沖縄県や福岡市のジュニア・リーダーは、レクや踊りなどを通して、他県のジュニア・リーダーと親交を深めていたことが上げられます。コロナ禍で色々な活動が出来ない中でも、自分たちの活動において取り入れていきたいです。

2つ目に、他県も同じような悩みを抱えているということです。コロナ禍で、単位子ども会への参加やキャンプなどでの活動が十分にできず、下の世代が育っておらず、チーフやサブを任せることができないというのが私たちの悩みでした。その悩みを他県のジュニア・リーダーの人に相談すると、その県の人も悩んでいるとのことでした。

コロナウイルスの存在をどうにかすることはできないので、コロナに気をつけながら、下の世代を育てることができるような活動などを互いに考えることができ、学ぶことができました。

この九州大会を通して学んだことを活かし、これからの活動も頑張っていきたいです。

「令和4年度第48回九州地区子ども会ジュニア・リーダー研修会くまもと大会」に参加して

J L R. Y. (高2)

私は木村和也さんの講演が一番記憶に残っています。言葉の魅力は、人を元気にしたり、勇気を与えたり、傷つけたりすることは分かってても、自分が相手を言葉によって傷つけても人間の心が読めるわけではないから大変だと思いました。だから、自分が放った言葉に責任を持とうと思います。

木村さんが事故にあった時に思ったことは、非日常は地獄だとおっしゃっていました。あたりまえや日常、普通というのは自分の手の中にあるだけで幸せなのかと考えました。

木村さんがもう歩けないかもしれないと言われたとき、心が折れ泣くしかなかった木村さんを怒ってくれる人がいたそうです。人間であればほとんどが怒る人は苦手意識を持つと思っていましたが、木村さんは感謝していました。しかし、自分が間違っていることを怒ってくれる人はすごいことだと考えさせられました。様々なことを考えされたり、改めて意識しようと思った木村和也さんの講演でした。

私は、高校一年生の時に心が折れました。これを書くことは自分にとってすごく勇気がいります。私は小学5年生からほとんど学校生活をしたことがありません。平日に学校にいる時よりも家に居る時間の方が長いです。不登校になったきっかけは「邪魔」と言う言葉からでした。最初は、この言葉で傷つく自分自身が嫌になりました。久しぶりに自分自身が好きになれたのは高校入学の時です。両親からは全日制より定時制や通信制に行った方がいいじゃないかと勧められました。しかし、私にも夢がありました。「普通の学校生活をしてみたいという夢」でした。家に1人でいると、外から、小中学生の登下校の声が聞こえてきていました。だから私も皆みたいに普通の学校生活がしたいと思いました。しかし、高校に入学して5月くらいに学校が怖くなりました。そしてしばらく学校に行けないと出席日数が足りなくなって留年するかしないところまできました。その時心が折れました。夜にいろんなことを考えて一人静かに泣く日々が続きました。学校と家の間に大きな壁があるように感じました。だから、自由に通える通信制の高校に転入しました。しかし、高校生の楽しそうな姿を目にするとまたさらに自分が嫌になりました。(自分で(の)目標に(を)自分自身でつぶしている。)だから、この講演を聴いて泣きそうになりました。

私にとってJ Lは居場所です。だから、誰でもいいから誰かの居場所になるような場所を作っていきたいと考えます。

「令和4年度第48回九州地区子ども会ジュニア・リーダー研修会くまもと大会」に参加して

J L T. T. (高2)

今回、九州地区ジュニア・リーダー研修会くまもと大会へ出て、一番に感じられたのはちょうど3年前に佐賀大会に行った時からの成長です。ちょうどその佐賀大会が終わり年明けてすぐくらいにコロナウイルスのまん延によって、ジュニアとしての活動がほぼできませんでした。そのため、何かと忘れていたことが多かったのですが、今回のくまもと大会で他県のJ Lと触れ合って少しずつ思い出してきました。

次に、この大会に参加して学んだことは、「報、連、相」は特に大事であるということです。今回やはり運営や熊本市J Lの動きを見て、少し「報、連、相」が足りず、トラブルになっていたような気がしました。そのため今後「報連相」を徹底していきたいと思います。

次に、コミュニケーションを取るということです。J Lはコミュニケーションがしっかり取れているからこそ成り立つ活動が多くあると思います。他県との交流もしかり、自県内でのコミュニケーションもとても大事であると改めて感じました。

次にけじめをつけるということです。時間のけじめ、感情のけじめ、様々有りますが、やはりけじめがきちんとしていないと活動を楽しむことができないことに気づきました。

最後に今後の決意としては「J Lとしての自覚を持って行動し、しっかりとけじめをつけ、報、連、相を忘れず行う」ということを胸に刻んで活動していきます。

「令和4年度第48回九州地区子ども会ジュニア・リーダー研修会くまもと大会」に参加して

J L A. K. (中2)

私は九州地区子ども会大会に参加して主に2つ思ったことがあります。

1つ目は、ジュニアのコミュニケーション力が高いということです。私は最初、他県の人とどう接すればいいかや、みんなが仲良く話している間に入ることができず、黙ってしまいました。すると、他県の班の人が話しかけてきてくれて、とても優しくしてくれて嬉しかったです。自分から話しかけることによって、それぞれの県のレクなど色々な事を聞くことができるし、来年また会う時にすぐ仲良くなれるので次は自分から班の人だけでなく、いろんな人に話しかけて年齢関係なく仲良くなりたいです。

2つ目は、主催者である、熊本県のジュニアの計画性です。長期間、計画をたてる時間があったこともありますが、余裕のあるスケジュールが組み立てられていて、時間がおすこともなくスムーズに進みました。熊本県のジュニアは、今自分が何をしないといけないのかが分かっていて、みんなより先回りして行動していました。

また、熊本市は来年、政令指定都市くまもと大会が行われ、私たちが主催者側になります。政令指定都市くまもと大会では九州地区よりたくさんのジュニアが参加します。なので、今回学んだことを活かせるよう頑張り、いろんな地方のジュニアと仲良くなり、みんなが楽しかったと思える大会にしたいです。

令和4年度第48回九州地区子ども会ジュニア・リーダー研修会くまもと大会」に参加して

J L S. O. (中2)

私が九州地区子ども大会に参加して感じたことはまず、班の人のコミュニケーション力が高く早い段階で打ち解けることが出来たのが嬉しかった事です。初めての参加や元々人見知りということもあり緊張していました。しかし皆さん優しく話しかけてくれました！

次は私自身で班の中を深められるようにリードして行けるようになりたいと思い、コミュニケーション力を高めたいと思います。

次に、九州という狭い範囲でもかなり方言の違いがあり、聞いていて面白かったです。また、県の名物が実際は意外と違っていたことも実際に会って話せたからこそ聞いたことだと思います。

そして、芦北独自の活動のペーロン体験があり、来年の指定都市大会にも阿蘇ならではのことができないかと思いました。

最後に、これからの課題として、今回レクリエーション活動での交流が無かったのが悲しかったので、コロナ禍でもソーシャルディスタンス保ちながらのレクリエーションをもっと考えたいと思います。

最後に、これからの課題として、今回レクリエーション活動での交流が無かったのが悲しかったので、コロナ禍でもソーシャルディスタンス保ちながらのレクリエーションをもっと考えたいと思います。

令和4年度第48回九州地区子ども会ジュニア・リーダー研修会くまもと大会」に参加して

J L N. K. (中2)

〈感想〉

今回は初めての九州大会だったので初めは少し緊張してしまいました。しかし、班で出会った各県のジュニア・リーダーの皆や熊本県ジュニア・リーダーの方々の優しいご指導により安心して活動することができました。

1日目では、カタルタゲームや各県の特色紹介など少しの活動ではあるものの、班の皆とたくさん交流することができました。

2日目では、海洋体験や三角灯籠制作など熊本県ジュニア・リーダーの分かりやすい指示のおかげで楽しい体験をすることができました。また、テレビ局アナウンサーの木村和也さんの講演では、お若い時に大怪我をされ両下肢麻痺となり「歩けるようになる可能性は1%。しかし、その1%に賭けるかはあなた次第」と主治医から言われ、事故からわずか約8ヶ月後に職場復帰された話など、その時に色々な人たちから言われた優しい言葉など、言葉のすごさについて教えて下さいました。

3日目は、座学でこの九州大会全てを振り返りました。

〈反省〉

今回の九州大会では、とある事件を起こしてしまい、皆に迷惑をかけてしまいました。この事件では、自分が相手のことを考えず、自分勝手な行動をしたため起こりました。このことをふまえ、今度からはしっかり色々な人の立場を考え行動していきたいと思います。また、今回の大会で少々ふざけて、感染対策をしなかったことがありました。このことも自分のことだけを考えるのではなく、皆のことも考えた上で色々していきたいと思いました。

〈大会の改善点〉

今回の大会で3回場所を移動することがありました。また、各県の特色紹介の際、感染対策が出来ていなかったとのことでしたので、僕たちもしっかり考えていきたいと思いました。

令和4年度第48回九州地区子ども会ジュニア・リーダー研修会くまもと大会」に参加して

J L K. K. (中1)

全体的に見て、恥ずかしがっている人が少ないことが分かった。あと、みんな主体的に話しかけてたからすごいと思った。

大会に参加して学んだことは4つあります。

1つ目は、恥ずかしがっている人が少ないことです。僕はくまモンの発表をしているときに、ちょっと恥ずかしかったけど、みんなは、ダンスなどを恥ずかしがらずに言ったり踊ったりしていたからすごいと思った。

2つ目は、友達を作るのがとても早いことです。みんな班になったら直ぐ話し始めていて、直ぐ友達を作っていたからすごいと思った。

3つ目は10分前行動、5分前集合が出来ていたことです。13分前くらいになったら、そろそろ行こうかと近くの人たちに声をかけていたからいいと思った。

4つ目は、時間をいつでも把握して、何をいつするか人に声かけしていることです。いろんなことを覚えてみんなに伝え行動する。

この4つのことを出来るようになりたい。